

第9回武蔵野市における地上部街路に関する話し合いの会 ご意見カード

・ご意見カード記入12名 (内、公表希望11名)

整理番号	ご意見
1	<p>構成員は毎回、発言のチャンスがあるのに、個別に聞き取りする必要はないと思う。傍聴者も多く、地域住民の声を聞く機会をどうして開かないのですか。それこそ大事です。</p> <p>9回も重ねた時間は不要です。税金のムダ遣いはやめて下さい。</p>
2	<ul style="list-style-type: none"> ・資料 9-3 は前回の宿題から全く外れている。タイトルを変えたところで地上部街路の説明ではないか！全くバカにした話である。 ・話し合いの会と会の中に構成員に意見を聞き回り「お説ごもつとも」と答えていながら何も対応していないとは!!まず全部、回答、資料を用意すべきだ。ご意見うかがいますというさもししいやり方が見え見えだ。 ・代替案を示す事もやってみたいと思う(都・小口)ではなく、示す事は当たり前だ！ ・道路が防災に役立つなどというこじつけはいいかげんにやめるべし。 ・外環の2は必要なし!(そもそも存在しないのですよ。)その前にやる事は沢山ある。
3	<p>話は、「地上部街路」の得点ばかりを挙げている。その意味では防災という視点よりも「九都県市首脳会議」の論調そのまま、「外環沿線を産業地盤とする」という目的に沿ったものである。</p> <p>特に外環との「直結」という「便益」をしつこく主張するあたり、我田引水であり、被災地を喰いものにさえしており、この際、火事場泥棒的であり感心しない。議論ではなく、一課長の饒舌なコトバのみが上滑りする、忍耐を要する独演会である。</p>
4	<ol style="list-style-type: none"> 1. 外環の2をつくることについて、市民の意見を聞くというならば、どれだけの費用がかかるのかを説明することは出発点である。これがなければ説明にならない。 2. 課長が財政問題を説明できないというのは無責任。課長といえども東京都を代表してここにきているという自覚を欠いている。 3. 以前の会合で「計画を即時廃止することはできない。廃止は都市計画審議会が行う」との発言があった。都市計画道路の都市計画廃止の実例もある。都市計画廃止への道筋、手続を説明すべきである。これなしに「即時廃止」はできないとのみ説明するのは、不誠実極まりない。 4. 防災と地上部街路についての説明は、あらゆる効能を並べた机上の空論としか思えない。
5	<p>市民委員の皆さんの意見は、どれも含蓄があり、震災を踏まえた上での価値観の変化を感じることができました。</p>

	<p>それに対し都の出した資料は、一部だけの答え、しかも各論におちていて、「すりかえ」ということが当たっていると思いました。</p> <p>外環の 2 となぜ都は言わないのか。地上部街路というならどこでもいいわけで、本当に必要な道路を整備すればよいのではないか。</p> <p>コストパフォーマンスも重視しなければならないことであると思います。</p> <p>代替案なしでのメリットも考えるべきです。</p>
6	<ul style="list-style-type: none"> ・代替機能を確保しないと廃止できないような都の答えは方はさけていただきたい。都市計画法上根拠ないはずです。何度も本会議や委員会でその点私は質問しています。かくにんしています。 ・構成員の方と平行線のかんじがしました。ニュートラルに耳をかたむけて下さい。 ・3.11 震災に地上部街路をかこつけないで下さい。
7	早く地下・地上とも道路を作って欲しい。
8	<ul style="list-style-type: none"> ・地上部街路に関する話し合いの会で出てくる資料は常に計画ありきのものばかりである。小口氏が“やるということではなく皆さんと議論していきたい”と言うのであれば、この地域に本当に必要なものは何かからの話し合いにして欲しい。 ・外環の 2 を造るよりもっと優先順位の高い事業があり、限られた予算の中で何を先にやるべきかもっと考えて欲しい。 ・道路の必要性を議論するにあたり、かかる費用やちのき戸数が示されなければ現実的な議論はできない。デメリットの部分として示す必要がある。
9	<ul style="list-style-type: none"> ・話し合いの会のタイトル地上部街路ではなく、あくまでも「外環の2」である。すりかえないでいただきたい。 ・「外環の2」をどうするか3つの場合を以前提示したのに、あくまでも作るという前提で話をすすめていくのはおかしいのではないか。代替案も示すべきではないのか。 ・資料 9-5 の浜本さんの資料こそ「外環の2」の真実の姿である。つまり外環が地下になった時点で「外環の2」はなくなったものと住民は理解している。
10	計画を進めるか否かが決まっていないので、立ち退き件数、コストを算出できない、という論理はおかしい。計画の方向性を決めるためにも、あらゆるコストを計算すべき。
11	<p>東日本大震災に財源を使うべき等の意見が多く出されたが、都の税金は都民の生活を守るために使うべきと考える。東日本震災への対応は国の役割で都は、都民のために働くことをもっと強調すべき。</p> <p>東日本大震災への支援等で多くの時間がついやされたのは残念。</p> <p>地上部街路が有った時、無かった時に地域防災がどうなることを想定しているのか。</p> <p>無かった時に他に防災の代替案はあるのか、無いのかを話し合っしてほしい。</p> <p>国のあり方、東京都のインフラのあり方の検討は無意とは思わないが、私としては、自分の生活に直結する話し合いをしてほしい。</p>